

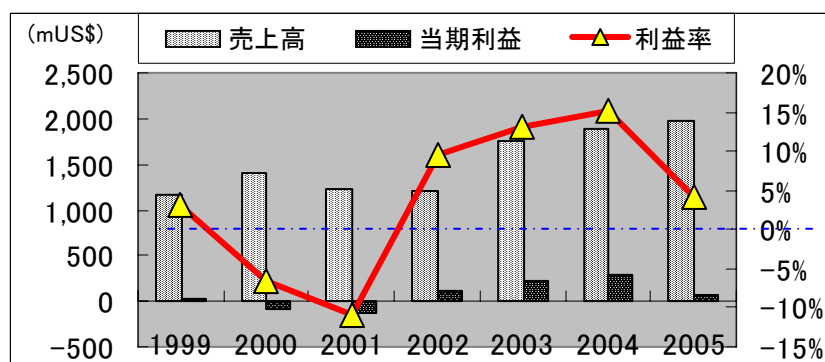
15. Placer Dome Inc. (プレーサー・ドーム社； 現 Barrick Gold Corp.)

1. 企業概要

本社	カナダ・バンクーバー
主要事業〔鉱種〕	非鉄金属鉱山・製錬〔Au, Cu〕
従業員数	約 13,000 人(2004 年 12 月末)
決算日	12 月末日
主要関連会社	<ul style="list-style-type: none"> ・Cia Minera Placer Dome Sudamerica (プレーサー・ドーム南米鉱山会社:100%) ・Placer Dome Asia Pacific Ltd (プレーサー・ドーム・アジアパシフィック:100%) ・Placer Dome Canadian Mines (プレーサー・ドーム・カナディアン:100%) ・Placer Dome US Inc (プレーサー・ドーム・US:100%) ・South Deep Gold Mine (サウス・ディープ・ゴールド・マイン:50%)

2. 財務状況 (mUS\$)

	年度	2005	2004	2003
売上高 Sales〔①〕		1,978	1,888	1,763
当期利益 Net Earnings (loss)〔②〕		80	284	229
利益率〔③=②/①〕		4.0%	15.0%	13.0%
資産 Total assets〔④〕		5,694	5,544	4,585
流動資産 Current assets		1,649	1,636	983
負債 Total liabilities〔⑤〕		2,454	2,380	2,186
流動負債 Current liabilities		546	453	279
純資産〔⑥=④-⑤〕		3,240	3,164	2,399
探鉱費 Exploration Spending Totals		91.0	77.0	76.0



Placer Dome: 売上高、当期利益、利益率の推移

3. 主要鉱産物の生産・開発状況 [※鉱山名(所在国,権益比率):生産量は権益分]

年度	2005	2004	2003	'05年の世界シェア等
金鉱(t)	113.4	113.6	116.8	第5位(5.1%)
Porgera(PNG,75%)	19.8	23.8	19.9	'06年3月、Goldcorpが獲得
Cortez(米,60%)	16.9	19.6	19.9	
Kalgoorlie(豪,100%)	15.2	15.5	20.5	
Granny Smith(豪,100%)	11.6	8.3	8.7	
North Mara(タンザニア,100%)	7.8	6.5	2.8	
South Deep(南ア,50%)	7.2	6.7	6.9	
Campbell(カナダ,100%)	6.5	6.5	6.3	'06年5月、Goldcorpが獲得
Porcupine JV(カナダ,51%)	5.9	6.3	3.7	
Musselwhite(カナダ,68%)	5.3	5.1	4.7	
Turquoise Ridge(米,75%)	4.9	3.9	2.9	
Henty(豪,100%)	3.5	4.4	3.2	
La Coipa(チリ,50%)	2.6	2.8	3.1	
Bald Mountain(米,100%)	2.5	1.5	2.8	
Golden Sunlight(米,100%)	2.5	0.08	7.3	
Osborne(豪,100%)	1.3	1.3	1.2	
Mishima(PNG,80%)		1.3	2.9	
銅鉱(kt)	163.0	187.4	192.9	第15位(1.1%)
Zaldivar(チリ,100%)	123.4	147.7	150.5	
Osborne(豪,100%)	39.6	39.7	42.5	

4. 沿革

Placer Dome 社は、1910年に設立された Dome Mines Ltd.社を発祥として、1987年、同社を含めた関連3社が合併して設立された。2005年3月 Barrick Gold 社により友好的に買収され(一部権益は Goldcorp 社が獲得)、歴史を閉じた。

1909年・カナダ Ontario 州と Quebec 州にまたがる Abitibi Green stone belt(アビティビ・グリーン・ベルト)の Porcupine(ポーキューピン)地域において金鉱床が発見された。

1910年・Canadian Copper Mining Co.社がトロントに Dome Mines Co. Ltd.社(後に Dome Mines Ltd.社と社名を変更)を設立し、Dome 鉱山の生産が開始された。

Dome Mines Ltd.社は、Dome 鉱山周辺鉱区に権益を取得して同鉱山を拡張した。

1926年・Placer Development Ltd.社をバンクーバーに設立して Bulolo 漂砂金鉱床を開発(PNG:32年~65年生産)した。

1944年・Campbell Red Lake Mines Ltd.社をトロントに設立して Campbell 鉱山を開発(Ontario 州:49年生産開始)するなど事業を展開、後の Placer Dome 社の基礎を築いた。

1970~80年代・BC 州で鉛・亜鉛鉱山などのベースメタル資産を取得、さらに米国、豪の露天掘金鉱山に投資して、80年代末までに4カ国で7鉱山を所有するに至った。この間、87年に Dome Mines Ltd.社、Placer Development Ltd.社、Campbell Red Lake Mines Ltd.社の3社が合併し、北米最大の産金会社として Placer Dome Inc.がバンクーバーに設立された。

1990年代・さらにグローバル化を進め、99年末時点で、米国4鉱山カナダ3鉱山、豪3鉱山、PNG2鉱山、チリ2鉱山、南ア1鉱山の計15鉱山を所有した。

1995年・Zaldivar 銅山(SX-EW,チリ第II州)、Placer Dome50%、Outokumpu50%の権益比率で生産を開始。

1999年・年末、Placer Dome は、Outokumpu の権益を全て取得した。

2002年・5月、Placer Dome 社は、PNG の Porgera 鉱山及び Grantee Smith 鉱山の JV パートナーであった Aurion Gold 社の買収を提案した。Aurion Gold 社は2001年末に豪 Goldfields 社と

Delta Gold 社の合併により設立された鉱山会社であり、Placer Dome の買収提案を拒否していたが、10月に提案を受入れた。

2003年・7月、East African Gold を買収し、North Mara 鉱山の権益を得た。

2005年・10月、カナダの Barrick Gold Corp. が Placer Dome 社の買収案を発表。

・12月一旦拒否をしたものの、新買収案の受け入れを決定。

2006年・3月15日、発行済み株式全てを Barrick Gold 社が獲得し、Placer Dome 社の買収を完了。

総額 10.4bUS\$。Barrick Gold の 2005 年産金量は 169.8t であるが、Placer Dome の Goldcorp への売却資産予定分 20.3t を差し引いた 93.1t を加えると 262.9t となり、Newmont の 206.1t を抜き去り世界第 1 位の産金企業となる。

・5月12日、本合併に際しての一部の買収資金 1.485bUS\$ を負担した Goldcorp 社に対して、10月合意に基づいた資産売却が実施された。(旧 Placer Dome のカナダにおける操業金山 (Campbell(100%)、Porcupine JV(51%)、Musselwhite(68%))、環境保全、探鉱鉱区等全ての鉱業資産及びその他権益 (LaCoipa(チリ)金山(50%)、Pueblo Viejo 金探鉱区(ドミニカ, 40%) が Barrick Gold から Goldcorp に対して売却(総額 1.6bUS\$)された。これら売却されたカナダ 3 金山とチリ 1 金山の 2005 年産金量計 20.3t と Goldcorp の 2005 年産金量 35.3t の計は 55.6t となり Goldcorp は世界第 14 位から 9 位に躍進することになる。)

5. 事業内容

Placer Dome 社の主要事業対象鉱種は金であり、カナダ、米国、チリ、豪、PNG、南ア、タンザニアの 7 カ国で 17 鉱山を経営している。2005 年度において、世界第 5 位の産金会社である。

(1) 北米

2005 年主要権益保有鉱山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt) (権益分)	品位 Au(g/t)	採掘 タイプ	生産量 (t) (権益分)
Cortez (コルテス, 米)	60	234.5(140.7)	1.4	OP	28.1(16.9)
Porcupine JV (ポークユパイン, カナダ)	51	63.2(32.2)	1.7	UG	11.6(5.9)
Musselwhite (ムッセルホワイト, カナダ)	68	11.1(7.5)	5.7	UG	7.8(5.3)
Campbell (キャンプベル, カナダ)	100	2.6(2.6)	15.6	UG	6.5(6.5)
Turquoise Ridge (ターコイズ・リッジ, 米)	75	7.1(5.3)	19.3	UG	6.5(4.9)
Bald Mountain (ボールド・マウンテン, 米)	100	95.3(95.3)	1.1	OP	2.5(2.5)
Golden Sunlight (ゴールドテンサンライト, 米)	100	7.0(7.0)	2.6		2.5(2.5)

カナダ・Ontario 州 Campbell、Musselwhite、Porcupine の 3 鉱山及び米国 Nevada 州の Bald Mountain、Cortez、Golden Sunlight、Turquoise Ridge の 4 鉱山に権益を保有していた。このうち、Campbell、Musselwhite、Porcupine の権益は Goldcorp 社に移ることになった。

Cortez 鉱山

Rio Tinto の 100%子会社 Kennecott Minerals 社との J/V により生産されており、Pipeline、South Pipeline、Cortez Pediment の 3 鉱床からなる。現在、Pipeline 鉱床と Cortez Pediment 鉱床を採掘中であり、2012 年までの生産が見込まれている。2005 年には 29mUS\$ の設備投資を行った。2006 年には South Pipeline 鉱床の品位の低い鉱脈に到達する予定で、コストアップが見込まれている。2005 年 9 月、Cortez Hills の再編成による減産も発表した。

Porcupine 鉱山

Placer Dome (51%) と Kinross (49%) の JV で、Dome 鉱山及び処理場と Kinross の Hoyle Pond、Pamour、Nighthawk Lake の各鉱山及び Bell Creek 処理場が含まれている。2005 年の第 3 四半期に Dome オープンピットが閉鎖される予定である。Pamour ピットは表土の除去作業が 2004 年第 4 四半期に始まり、2005 年第 3 四半期に操業開始の予定で、設備投資額 20mUS\$ の多くを Pamour 開発に使われた。

Turquoise Ridge 鉱山

休山していたが、2003年にPlacer Dome(75%)とNewmont(25%)のJVとして操業を再開し、2004年にはフル生産体制となっている。鉱石は近傍のNewmontのTwin Creeks処理場で処理される。

Bald Mountain 鉱山

2004年はBald Mountainトップピット第7層の残土除去工事により鉱石生産は大幅に減少したが、2005年第3四半期から鉱石生産が再開され、2.5tの産金量を得た。11月発表によると、未確認も含めた金の推定埋蔵量が増加し、2004年に比べ360%増加した105.8tと見込まれている。

Golden Sunlight 鉱山

2003年8月と12月に露天掘、坑内掘鉱山それぞれ休止し、2005年1月に再開され、2005年の産金量は2.5tであった。

(2) 中南米

チリにLa Coipa(ラ・コイパ)金山及び、Placer Domeが保有する二銅山の一つであるZaldivar(サルディバル)を所有していた。La Coipa 鉱山の権益と共に、大型の開発案件であるPueblo Viejoの権益40%もGoldcorp社が獲得することになった。

2005年主要権益保有鉱山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量(mt) (権益分)	品位 (Au・ Ag:g/t,Cu:%)	採掘 タイプ	生産量 (Au・Ag:t Cu:kt) (権益分)
La Coipa (ラ・コイパ,チリ)	50	16.9 (8.5)	1.5 Au	OP	5.2(2.6) Au
			89.6 Ag		155.5(77.8) Ag
Zaldivar (サルディバル,チリ)	100	403.9 (403.9)	0.7 Cu	OP	123.3(123.3) Cu
Pueblo Viejo (プエブロ・ビエホ,ドミニカ)	100	129.7 (129.7)	3.2 Au		—

La Coipa 鉱山

1997年に権益を取得したCan-Can 鉱床を含めて6つの鉱床からなり、銀を多く産出するのが特徴である。鉱山はPlacer Dome社50%、Kinross社50%のJ/VであるMDO社によって経営されていた。金の2005年権益産金量は2.6tであるが、銀の金等価分を入れた産金相当量は3.9tであり、権益産銀量は77.8tであった。

Zaldivar 鉱山

1995年にPlacer Dome50%、Outokumpu50%の権益比率で生産を開始したが、1999年末、Placer Domeは、Outokumpuの権益を全て取得した。周辺探鉱の結果、2000年に鉱量が増加し、2022年まで操業予定である。

Pueblo Viejo 金山

これから開発の大型鉱床で、470tの金量が見込まれる。

(3) オセアニア

2005年主要権益保有金山による鉱石生産

オペレーション名	権益 (%)	鉱量(mt) (権益分)	品位 (Au:g/t,Cu:%)	採掘 タイプ	生産量 (Au:t,Cu:kt) (権益分)
Porgera(ポルゲラ,PNG)	75	51.6(68.8)	3.7 Au	OP	26.4(19.8)
Kalgoorlie(カルグーリー,豪)	100	14.9(14.9)	5.1 Au	OP	15.2(15.2)
Granny Smith(グラニー・スミス,豪)	100	7.0(7.0)	3.0 Au	OP	11.6(11.6)
Henty(ヘンティ,豪)	100	0.5(0.5)	9.7 Au	UG	3.5(3.5)
Osborne(オズボーン;豪)	100	6.0 (6.0)	0.8 Au		1.3(1.3)
			2.2 Cu		39.5(39.5)

豪州で Granny Smith (グラニー・スミス)、Kalgoolie (カルグーリー:Kalgoolie West と Kanawna Belle を再編統合化) (以上豪 Western 州)、Osborne (Queensland 州)、Henty (ヘンティ) (Tasmania 州) を、PNG で Porgera (ポルゲラ) などの金山を操業していた。

Porgera 鉱山

Placer Dome が所有する最大の鉱山であり、2005 年の金生産量は停電などによる操業停止もあり、鉱石品位上昇、二次破碎機増設などにより増産となった 2004 年には及ばなかったものの、好調な操業を続けた。2006 年も西側オープンピット開発と西側壁への改良投資を行い、2006 年早期に主要鉱脈に到達する見込みで、西側壁の改良は 2007 年半ばにも完了予定であった。2005 年新たに 31 t を越える新鉱脈が加わった。

Granny Smith 金山

露天掘ピットの鉱量精査により、推定埋蔵量が減少した。2004 年 2 月に天候災害で Wallaby ピットが水没したが、年間生産量に影響はないとされた。2005 年、特に第 4 四半期にはさらに復旧すると共に、予想を上回る好調であった。

Kalgoolie West 金山

2003 年 12 月に幾つかの露天掘鉱山の操業が終了し、2004 年第 1 四半期に Kundana 選鉱場が休止され、2004 年の産金量は 03 年に比べ 34% 減少した。2005 年第 2 四半期に Kalgoolie West と Kanawna Belle の 2 鉱山を再編成し、Kalgoolie 鉱山として統合した。Kalgoolie の Raleigh 開発と Kanawna Belle の地下鉱床開発に、25mUS\$ 投資された。Raleigh の硬い鉱質が生産低下をもたらしている。

Misima 金山

銀を副産する金山であったが、鉱量枯渇により 2001 年 5 月で採掘を休止したが、2004 年 5 月まで貯鉱処理を継続した。

Osborne 鉱山

副産物として金を有する銅を産出する。

(4) アフリカ

Western Areas 社と J/V で、南ア・Westonaria (ウエストナリア) 地方の South Deep (サウス・ディープ) 金山の権益を有する。

2005 年主要権益保有鉱山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益 (%)	鉱量 (mt)	品位 Au(g/t)	タイプ	生産量 Au(t) (権益分)
South Deep (サウス・ディープ, 南ア)	50	147.0(73.5)	6.2	UG	14.3(7.2)
North Mara (ノース・マラ, タンザニア)	100	38.2(38.2)	3.5	OP	7.8(7.8)

South Deep 金山 (南ア)

2000 年 2 月に鉱山を改名したものである。1999 年 4 月に Placer Dome 社は Western Area (ウエストン・エリア) 金山の権益 50% を取得し、Western Areas 社との J/V で、現存する South Shaft (サウス立坑) からの生産及び新規 South Deep Shaft (サウス・ディープ立坑) の開発を進めることとなった。2005 年地下鉱床開発に 14mUS\$ の投資を実施。金の埋蔵量 (権益分) は、2004 年の 865t から 2005 年 454t に減少したが、資源量は 171t から 404t に増加した。

North Mara 鉱山 (タンザニア)

権益は、豪の East African Gold Mines 社を 2003 年 7 月に買収し獲得した。2004 年の生産量は通年で Placer Dome に生産計上されたため、2003 年に比べて 133% の増加となった。2004 年第 4 四半期に選鉱場の能力を 200 万トンから 280 万トンに拡張した。2005 年、品位の高い Gokona ピットに 27mUS\$ 投資、鉱石生産が開始され、年間生産量は 20% 増加した。金埋蔵量は 2004 年より 14.4 t 増えて 133.8t と見込まれた。

6. 探鉱戦略

(1) 概要

Placer Dome 社の探鉱活動は Minex と呼ばれる既存鉱山あるいはその周辺の探鉱と世界規模での有望地域の探鉱に分けられる。2004 年の探査活動では 26 鉱区で探査が実行され、5つの有望なプロジェクトが次の段階に進み、2005 年度は合計 22 のプロジェクトが進行中である。既存鉱山では Porcupine、Cortez、Kalgoorlie (Kalgoorlie West、Kanowna Belle)、North Mara に集中的に配分された。2005 年の金鉱物資源の測定表示保有量は、Pueblo Viejo の鉱物資源から埋蔵量への変更と Cerro Casale の除外から、前年より 37% 低下し、1400t となった。

(2) 対象鉱種

金が主要の対象鉱種であり、2005 年度予算ベースで金探鉱予算額 84.3mUS\$ は全体の 94% を占める。銅探鉱予算 2.7mUS\$ はチリ Zaldivar 銅山の周辺探鉱分である。

(3) 対象地域・探鉱段階

主要な対象地域は、2005 年度予算ベースで豪州、カナダ、米国であり 20% 前後を占める。これにアフリカ 13%、東南アジア 9%、中南米 7% など。

探鉱段階については、Mine Site 60% で既存鉱山の周辺探鉱が主体的であり、Grass Roots は 27% である。Late Stage & F/S は 3% と極めて低く、開発検討段階の探鉱プロジェクトが少ないものと予想される。

(4) 最近の動向

有望な探鉱プロジェクトには、Nevada 州 Cortez Hills、ドミニカ共和国の Pueblo Viejo、チリの Cerro Casale 銅・金鉱床等がある。

北米

・Cortez Hills (米 Nevada)： Cortez では Cortez Hills の F/S が完了している。Cortez 金山の Pipeline 鉱床から南東 12km に位置し、生産は露天掘・CIL により初期投資額は 427mUS\$ が見込まれる。

Cortez Hills 金銀鉱床 (米国 Nevada 州)

埋蔵量 (Proven+Probable)	品位 Au(g/t)	金量 Au(t)
84.6	2.7	174

・Campbell (加 Ontario)： 坑内探鉱が継続中である。

Campbell 金銀鉱床 (カナダ Ontario 州)

埋蔵量 (Proven+Probable)	品位 Au(g/t)	金量 Au(t)
2,613	17.0	44

中南米

・Pueblo Viejo (ドミニカ)： F/S が完了し、鉱山開発の判断段階にある。年産金量 20t が見込まれる。

Pueblo Viejo 金銀鉱床 (ドミニカ)

埋蔵量 (Proven+Probable)	品位 Au(g/t)	金量 Au(t)
130	3.2	416

・Cerro Casale 銅・金鉱床 (チリ III 州)： 金・銀価格及び生産コストの観点から長く検討されてきたが、2005 年 10 月、Placer Dome の権益 51% をパートナーである Bema Gold と Arizona Star 両社に売却することが決定された。

Cerro Casale 金・銅鉱床 (チリ、斑岩型銅・金鉱床)

資源量 (Measured+Indicated+Inferred)	品位 Au(g/t)	Cu(%)	含有量 Au(t)	Cu(mt)
1,285	0.687	0.269	882	3.5

・Zaldivar 銅・金鉱床 (チリ II 州)： 周辺探鉱が継続されている。

豪州

Aurion 社の買収で得た鉱山も含めて鉱山周辺探鉱を多く行っている。2004 年 5 月に、WA 州の Killaloe ニッケル・金・PGM プロジェクトの 70%、同年 6 月に、Kalbara 金プロジェクトの 60%の権益を得ることに合意している。

南アフリカ

PGM を対象とした 2005 年度の Sedibelo 鉱床に関する Late Stage & F/S 探鉱の結果、鉱物資源量 246t、品位(3PGM +Au)5.77g/t を把握し、F/S と探査が継続中。

50%の権益を有する South Deep 金山では、埋蔵量が豊富に確認されているために、2002～2004 年間、深部開発のための探鉱は行われていない。

大洋州・東南アジア

PNG の Porgera 金山周辺探鉱が継続中である。